

今日のみことば

□ 1月21日(日) ヨシュア記 6章

ヨシュアのエリコ攻略は奇妙な計画でした。6日間城を一周し、7日目は七周して角笛を吹くと、兵士が一斉にときの声を上げると、城の城壁は崩れ落ちました。

□ 1月22日(月) ヨシュア記 7章

勝利の秘訣は信仰と従順と勇氣でした。アイでの敗北は、民の不従順の結果でした、アカンが神との約束を破って戦利品を私した不従順に対する神の怒りであった。

□ 1月22日(火) ヨシュア記 8章

アカンによる罪はきよめられ、神の作戦と命令は完全に守られ、アイ攻略に勝利を収めました。勝利の後にヨシュアは律法を朗読し神を礼拝しました。

□ 1月23日(水) ヨシュア記 9章

ギブオン人は計略を用いてヨシュアを欺いたが、契約のゆえにギブオンを打とうとはしなかった。しかし、その罰として下賤は苦役に服させた。

□ 1月24日(木) ヨシュア記 10章

ここにはギブオンの戦い、マケダ洞穴の五人の王、カナン南部の征服の三つの物語が記されている。この章で重要な言葉がある。「聖絶」である。

□ 1月25日(金) ヨシュア記 11章

カナン南部が征服されたことを知ったハツォルの王をはじめ北部の王たちは同盟を結んで対抗したが、ヨシュアが率いるイスラエル軍と戦い破れた。ヨシュアはカナン全域を占領した。

□ 1月26日(土) ヨシュア記 12章

ここにはヨシュアによって征服された土地の総括的な記録が記されている。ヨルダン川の東側と西側とに分類されて、記述されている。

ろ ぼ No. 1851
2018年 1月21日
日本バプテスト 立川キリスト教会
牧師 大川 博之

ルカ 2:49

すると、イエスは言われた「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」

イエスが「わたしが自分の父の家にいるのは当たり前」という言葉を、私たちはどのように聞いておられますか。「イエスは誰であるか」私たちが告白するとき、この少年イエスの言葉は、私たちにもう一度、大切なことを思い起こさせてくれます。イエスが語られた初めての言葉は、心して聞かせていただくかねばなりません。

イスラエルの成人男性は年三度の宮詣でを命じられていました。男子は十三歳から律法を守る成人と数えられていましたから、イエスの両親は予習もかねて宮詣に十二歳のイエスを同伴したものと思われます。しかしこの物語の中心はその出来事ではなく、その後起こった出来事にあります。

過越祭が終わって帰路につきましたが、その途中で息子のイエスがいないことに気づき、慌てて両親は捜しました。神殿の中で祭司・学者たちと、話を聞いたり質問をしたりしているイエスを見つけました。母親はイエスを詰問して「なぜこんなことをしてくれたのです」と言いました。そこでイエスは「わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らないのか」と言われたのでした。そこに私たちは何を聞き、何を見るのでしょうか。

この少年イエスは、すでにご自身をご存じであったと理解します。当時の子どもたちの教育は会堂でなされていました。その教科書は聖書です。そこで大切な律法の学びをなされたイエ

スは、ご自身の出自を確認されたと理解をさせていただくのです。両親が「心配して捜していたのですよ」といったのに対してイエスは「わたしが自分の父の家にいるのを知らなかったのですか」と言われました。その食い違いこそが、イエスを私たちが神の子イエスとして受け止めさせていただく、大切なところ。母マリヤは「これらのことをすべて心に納めていた」と記されています。

私はここに私たちが学ばさせていただく大事なことを知ります。「幼い時から聖書に親しむ」(テヘ二3:15) と言うことです。これは少年イエスにとどまるものではありません。

イエスがここでとられた行動は、「イエスは一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親に仕えてお暮らしに」なりました。彼には少年としてなすべきことをなすため、両親に従って家に帰られました。これゆえに彼は「ますます知恵が加わり、背丈も伸び、そして神と人から愛され」ましたとルカは伝えました。神の子としての彼の意識は、現実的には未発達でした。彼は身体においても、精神においても、霊においても、真に人間でした。あらゆる面において彼は、罪を別にして、私たちと生きてこられました。

この出来事を通して私たちがしっかりと聞かせていただくのは、その誕生の時から私たちの注目を一点に集中させられたことではないかと思えます。イエスが誰であるか、私たちは何と告白するのですか。イエスのご自身、聖書にしっかりと聞かれて確認に生きてこられました。私たちもまた、聖書を通してナザレのイエスを、私の主なるキリストと告白して、すべての祝福を身に受ける者とされるのです。

次週の聖書・説教	マタイ 3:13-17 正しいことを行う
----------	----------------------

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————
マルコ 4:35-41 「なぜ、怖がるのか」

激しい突風に翻弄され、慌てふためきうろたえている弟子たちの目に、悠然と寝ておられるイエスの姿はたまりませんでした。思わず「私たちがおぼれてもかまわないのですか」と詰問をしました。

すでに弟子たちの言動は間違っています。イエスが共にいて下さるのです。イエスを誰であるか、彼らには信じていました。そこでの弟子たちのイエスへの詰問です。イエスは行動を起こして下さいましたが、嵐が収まった後でイエスは、「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか」と言われました。

このイエスの言葉は、私たちが聞かせていただく言葉なんです。主イエスを信じて、日々を信仰に生きている私たちです。そして主はいつも共にいて下さることを確認させていただいて私たちです。そのあなたに、この突然の恐怖がおそってきても平然でいられますか。



Read God's Word.